

ウェルネス実習科目 の履修方法について

ウェルネス実習の履修について理解しておくこと

- 学年に関係なく「好きな曜日」の「好きな時間」の「好きな種目」を履修し「自分に必要な単位」を取得できるようになっている。
- この自由度を確保するために、履修の方法が複雑になっているので注意すること。
- 一番良い方法は、第1回目の授業（ガイダンス & 授業）に参加し、自分に最適な履修方法を理解すること。

全てのウェルネス実習科目について

- 全てのウェルネス実習は選択科目であり、必修科目ではない。
 - 学科等の指定等もなく好きな時間で履修できる。ただし科目の関係上、以下の様に便宜的に学年別に分けられている
 - 実習科目には以下のものがある（WWST）
 1. ウェルネス実習（100番台：1年生以上履修可能）
 2. 生涯ウェルネス実習（100番台：1年生以上履修可能）
 3. 生涯スポーツ実習（200番台：2年生以上履修可能）
 4. トータルウェルネス実習（300番台：2年生以上履修可能）
- 実際には、1年生が200番台・300番台の授業に参加することが可能。

ウェルネス実習の履修登録の
基本的な考え方：

- (1) 「合わせ技で1単位」
- (2) 「体と教務Webは別でよい」

ウェルネス実習の履修登録の基本的な考え方： 「合わせ技で1単位」

- 1つの科目が0.5単位なので、**同じ科目を2つ履修して、始めて1単位になる**（0.5単位+0.5単位で合わせて1単位）
但し、**「同じ科目名」である必要がある。**

例)

「ウェルネス実習A1」 + 「ウェルネス実習B1」 = 1単位
「ウェルネス実習A1」 + 「生涯ウェルネス実習B1」 = **不可**（科目名が異なるので合わせ技がきかない！）

連続するQ（例：1Qと2Q、もしくは3Qと4Q）で履修することを推奨（残りの0.5単位を忘れないため！）

<例外あり>

集中授業（ゴルフ・スキー）は、参加時間が長いので1つの科目（例：ウェルネス実習・集中）で1単位（すでに合わせ技になっている）

ウェルネス実習の履修登録の基本的な考え方： 「体と教務Webは別でよい」

- 「体：実際の授業参加」と「教務Web：履修登録先」は異なっても良い。

例)

体（実際の授業参加）は、生涯スポーツA1に参加（2年生以上の授業だが、1年生でも参加可能）

教務Web（履修登録先）は、「ウェルネス実習S1月（申告専用）」に登録する。

→成績は履修登録先に入力される

*体と教務Webが一致する場合は、そのまま履修登録（体：ウェルネス実習A1、教務Web：ウェルネス実習A1）

申告専用科目 = 履修登録専用の科目として準備してある。授業時間が指定されていないので、他の科目とバッティングせず履修登録できる。

申告専用を上手に利用しよう！

- 申告専用 = 履修のためだけに設けられた科目。1年生のウェルネス実習用には、月曜日から金曜日まで5つの申告専用が設けられている。
体（実際の授業参加）が月曜日の方は、月曜日の申告専用に登録する。他の曜日は以下同様。
- 履修方法が分からなくなった場合には、とりあえず申告専用に登録する（合わせ技1単位なので、2つの申告専用に登録するのを忘れずに）

例：「ウェルネス実習S1月申告専用（1Q）」 +
「ウェルネス実習S2月申告専用（2Q）」 = 1単位
「体」は月曜日の授業に参加（1Qと2Q）。

教務Webでの申告専用の探し方

教務Webでの申告専用の探し方

科目の選択－学士課程
2018前学期

1つ以上の条件を選択または入力して、科目を検索してください。

1. ここのチェックを全て外して

2. この「申告専用」にだけチェックを入れて検索をかける

クォーター

1Q 2Q 1~2Q 3Q 4Q
 3~4Q 2~3Q 1・3Q 2・4Q
 1~4Q

曜日

日 月 火 水 木 金 土 日
 集中講義等

開始時間

1時間 2時間 3時間 4時間 5時間
 6時間 7時間 8時間 9時間 10時間

申告専用 学論

教養科目群 専門科目群

全ての科目

科目区分

科目区分 推奨系

科目コード

科目コード番台
 100 200 300

授業科目名

授業担当教員名

検索条件クリア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...
選択	Q	曜日・時間	科目コード番台	科目コード	科目区分	授業科目名	授業担当教員	単位	備考		
選択	1Q	月1-2 (S224)	300	CAP.E331		基礎自然共生科学 (http://www.ocw.titech.ac.jp/index.php?module=General&action=TO300&JWC=201)	馬場 俊秀 本倉 健	1-0-0	学士課程科目		

4年間（6年間）を通じた履修例

- 1年生：1Qと2Qでウェルネス実習を履修
さらに、3Qと4Qで生涯ウェルネス実習を履修
- 2年生：1Qと2Qで生涯スポーツ実習を履修（さらに余裕があれば、3Q・4Qでトータルウェルネス実習を履修）
- 3年生：1Qと2Qでトータルウェルネス実習を履修
- 4年生・大学院：単位不要者として単位を取得しないが、授業には参加（部活がなくなるので大学院生も授業に参加しています）

1年生の履修例：1Qと2Qで1年生が確実に ウェルネス実習の単位をとる方法（履修方法 がわからなくなった場合はこの方法を推奨）

- 実際の授業への参加（通称：体）：**1Qと2Qに都合の良い時間に授業参加**
<例>

1Qは、金曜日・生涯スポーツ・バスケットボールに参加

2Qは、月曜日・生涯スポーツ・テニスに参加

「生涯スポーツ」は2年生以上の授業だが1年生も参加可能

- 履修登録（通称：教務Web）：**参加した曜日のウェルネス実習申告専用に登録する**

<例>

1Q：ウェルネス実習・S1金（申告専用）に履修登録、

2Q：ウェルネス実習・S2月（申告専用）に履修登録、

教員に申告専用に登録した旨授業で伝える（配布される実習カードにも記載する）。

前々ページ「申告専用の探し方」参照

履修登録エラー例（1）： 過剰申告（4科目申告）

- 1Qにウェルネス実習を2科目申告（0.5単位+0.5単位）。さらに2Qにウェルネス実習を2科目申告（0.5単位+0.5単位）。

→同じ科目名のウェルネス実習が合計で2単位になってしまうのでエラー（1つの科目は、1単位まで）。

→ウェルネス実習を1単位取得後は、3Q・4Qで生涯ウェルネス実習など他の単位を履修する

履修登録エラー例（2）： 過剰申告（3科目申告）

- 1Qですでに、ウェルネス実習0.5単位取得済み（成績表には記載されない→0.5単位を忘れる）。
- 2Qにウェルネス実習を2科目申告。→合計で1.5単位になってしまうのでエラー（1つの科目は、1単位まで）。
→2Qウェルネス実習を1科目（0.5単位）のみ履修する。
→2単位取得したい場合には、3Q・4Qで生涯ウェルネス実習2科目を履修。
- 0.5単位忘れがないように、4月に1Qと2Q分（合計2科目）を合わせて申告することをお勧めします。

履修登録エラー例（3）： 0.5単位放置

- 1Qでウェルネス実習を1科目履修（0.5単位なので成績表には記載されない）、そのまま放置して次年度へ。
- 0.5単位分の履修のみになりますので、不合格になる場合があります。GPAが下がりますので注意して下さい。

履修登録エラー例（４）： ダブル0.5単位放置（最悪例）

- 1Qですでに、ウェルネス実習0.5単位取得済み（成績表には表示されない）。
- 3Qに「生涯ウェルネス実習」を1つ履修。→異なる科目（ウェルネス実習と生涯ウェルネス実習は異なる科目です）なので両者が0.5単位のままで成績が認定されず、成績表には表示されないのが気が付かない。
- 気が付かずに年度を越えると 2つの科目が不合格（0点）になり、GPAが大幅に下がる可能性があります。
- →2Qウェルネス実習を1科目（0.5単位）のみ履修する。必要であれば、その後に、3Q・4Qで生涯ウェルネス実習1科目を履修。
- このような事態を避けるためにも、連続するQ（1Qと2Q、もしくは3Qと4Q）で履修することを推奨します。
- 不合格になった科目は、次年度再履修をすることにより成績が上書きされ、GPAを元に戻すことができます（系所属に関係する場合は早めの再履修をお勧めします）。